



エコライフ・フェア2008



『みずものがたり 水をめぐる7の話』
ダイヤモンド社

『つま かんづめる風景』

event

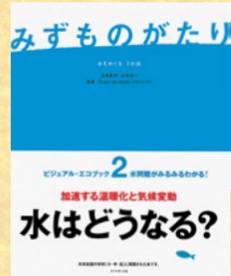
6月7日(土)から8日(日)の二日間、東京渋谷区の代々木公園で「エコライフ・フェア2008」が開催されます。エコライフ・フェアは、毎年6月、環境月間のメインイベントとして1990年から実施されてきました。環境省や企業、NGO/NPOのブースが展示されるほか、特設ステージでは、エコロジーをテーマにしたトークショーやライブなどが行われます。休日に、最先端の環境技術や、エコロジーの「今」がわかるフェアに出かけてみてはいかがでしょうか？

<http://ecolife2008.com>

book

日本では、当たり前前の存在としてあまり顧みられないことのない存在、「水」。でも、私たちが使うことのできる湖や川の水は、地球上の水の総量をお風呂の水(約200リットル)とすると、大さじ2杯弱(約26cc)くらいしかないのを知っていますか？「みずものがたり」は、地球の気候変動にまつながる水の問題を改めて考え、その大切さに気づかせてくれるビジュアル・エコブック。美しい写真や楽しいイラストを見ながら、大人も子ども楽しめる一冊です。

企画監修/山本良一 編著/Think the Earthプロジェクト



movie

カナダ人写真家、エドワード・バーティンスキーは、20年にわたって、人類の発展、つまり産業によって極端に変化した風景の写真を撮り続けてきました。完成すれば世界最大となる三峡ダムや、急速に都市化が進む上海……。変わりゆく中国をバーティンスキーが写真におさめる様子を記録した、このドキュメンタリー映画は、今、私たちがどのような世界に住んでいるかを考えるきっかけを与えてくれます。東京都写真美術館ホールにて、7月12日ロードショー。全国順次公開。

監督/ジェニファー・バイチウォル © EDWARD BURTYNSKY



その1 パン屋さんにジップロック
ちよび家さん



パンが好きでよく買いに行きます。一つひとつビニール袋に入れてくれますが、たまり過ぎてごみになるので、家からジップロックの袋を5枚ほど持参して(買う量が5個以内が多いので)入れてもらっています。

その2 ほうきを買いました
にわとりさん



先日、商店街の雑貨屋さんで、ほうきを買つけ購入しました。リビングの少しの汚れはこれで充分清掃できます。こまめにやれば掃除機を使わずにすみ、省エネになります。なんだか小学校に帰ったみたいですが、結構掃除を楽しんでいます。

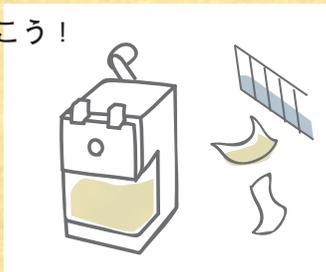
イラストレーション/aitaka

その3 ハンカチ持参
ECO4さん



お店のトイレには、ジェットタオルやペーパータオルが備え付けてありますが、水分をとるためだけに紙や電気を使うのはすごくもったいないです。ハンカチを持ち歩きましょう！

その4 鉛筆の「削りかす」を集めておこう！
たかみやれおんさん



小学校では鉛筆削りが大活躍ですね。「削りかす」はもちろんポイっと捨ててると思いますが……。これってパーベキューの時に大活躍するんですよー。細かいのでとっても火がつきやすい！天然着火材です！キャンプを計画してる方は近所の小学生にお願いしちゃおう！

注 環境省では「我が家の環境大臣事業」を通じて、環境にやさしい暮らしを心がけるエコファミリーを応援しています。エコファミリーウェブサイト <http://www.eco-family.go.jp> 今回ご紹介したアイデアは、エコファミリーから寄せられたエコライフアイデアを、一部内容を編集して掲載しています。

エコ生活のもと

全国のエコファミリーが教えてくれた、毎日の暮らしをちょっとエコにしてくれるアイデアをご紹介します。